

2015年3月9日  
富士通株式会社  
いすゞ自動車株式会社

## 富士通といすゞ、次世代自動車システムの共同研究について合意

富士通株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：山本正巳、以下「富士通」といすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役社長：細井行、以下「いすゞ」)は、このたび、いすゞが展開する商用車の安全・快適・環境の分野における将来技術の共同研究を行うことに合意しました。

具体的には、エネルギーシフトへの対応、運行安全性の向上、ドライバー負荷低減に関する共同研究を通じて、両社の強みを生かした商用車に適するシステムを開発し、将来車に採用していくことを想定しております。

富士通といすゞはこれまでも、1990年に両社の合併会社となる株式会社トランストロン(本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：加藤祐三)を設立し、各種の電子制御コントローラやテレマティクス車載機などを開発してきました。

近年、CO<sub>2</sub>の排出量削減による環境対策や、より安全な運行を可能とする支援対策のニーズが高まっているなかで、両社は、富士通の持つ最先端のICT(情報通信技術)と、いすゞの持つ商用車に関する知見・経験を活用／融合することで、安全かつ環境に優しい次世代の自動車システムの開発を目指してまいります。

以上